



市民活動のシンボルマーク「あの手この手」
Solution(解決)のSを表しています。

大和市
令和4年度

市民活動推進補助金 事業報告書



大和市イベントキャラクター ヤマトン

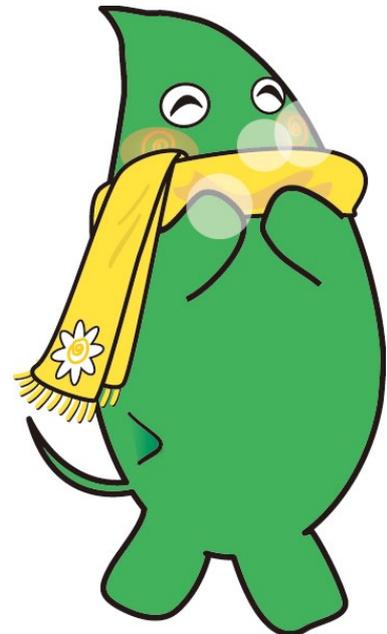
大和市 市民活動課 / 大和市民活動センター

目次

1. こころサポーターかながわ協会設立準備会 … 1
(こころサポーターかながわ協会設立準備会)
2. リハビリテーション専門職によるアウトリーチ活動 … 5
(地域を明るくするリハビリテーション専門職の会 大和)
3. 家族の介護を乗り切るための連続セミナー … 10
(市民活動グループ ごきげんカンパニー)
4. 大和駅前パワーアップイベント事業 … 16
(やまとパワフルミュージックサポート)

こころサポーターかながわ協会 設立準備会

[こころサポーターかながわ協会設立準備会]



大和市イベントキャラクター ヤマトン

事業報告書

団体名	こころサポーターかながわ協会設立準備会	
事業名称	こころサポーターかながわ協会設立準備会	
補助区分	めばえ ・ はぐくみ	
補助金額	50,000 円	
事業の目的	今後より多くの支援が必要となる、心を支え孤独孤立支援の活動を行うため、こころサポーターかながわ協会の設立に向けて準備を行うことを目的とします。	
事業の内容	<p>上記の目的を達成するために、孤独孤立支援、自殺予防に向けた会員、外部向けの勉強会を開催しました。</p> <p>ここかな第1回勉強会 2022年9月18日(日)10時~12時 ・心は何を求めている?コップ一杯の水から見える無限の世界 ~波乱万丈人生の尼僧が語る~ ・「東尋坊の番人」ビデオ視聴&フリートーク ~NPO法人活動を続けて600人以上を救う~</p> <p>ここかな第2回勉強会 2023年2月5日(日)13時~15時 ・『大切な人のいのちを守るために』 ~息子の過労死等を考える家族の会~ 安部普弘氏、宏美氏</p>	
実施場所	大和市市民活動拠点ベテルギウス	
参加人数	外部向け勉強会延べ25名	
事業実施の経過	実施日時	実施内容
	4/30	事業打合せ(年間スケジュール等)ベテルギウス
	5/28	打合せ、内部勉強会 ベテルギウス
	6/27	第1回勉強会打合せ・チラシ等 オンライン会議
	7/30	やまとニュース依頼について、DVD借用依頼 第1回勉強会打合せ ベテルギウス+オンライン勉強会内容、担当、名刺づくり等
	8/25	相談事例共有
	8/28	勉強会打合せ、チラシ配布先(残りのチラシ)
	9/14	打合せ オンライン
	9/18	第1回ここかな勉強会(3名加入)
	9/20	第1回ここかな勉強会ふりかえり オンライン
10/19	新規会員を加えて含む自己紹介や会の紹介	

	11/17 12/24 1/21 2/5 2/10 2/19 2/28	第2回勉強会打合せ オンライン 第2回勉強会打合せ、事例検討、チラシ配布 ベテルギウス1階会議室 第2回勉強会打合せ、担当、準備物確認 ベテルギウス1階会議室 第2回ここな勉強会 ベテルギウス2階会議室 第2回ここな勉強会 ふりかえり 補助金会計確認、領収書整理 報告書作成
事業の成果	<p>今年度は設立準備の為に1年であった。 勉強会を通し、新規の会員も増えそれぞれのバックボーンを含む事例を共有することで、孤独孤立支援や自殺予防の重要性を改めて感じることができた。 また、補助金を活用しフェイスブックやホームページのスタート準備が整い、今後の広報活動に活用していこうと思う。</p>	

◆事業のふりかえり

<p>事業の必要性や市民のニーズを感じましたか（公益性） 小さな規模の勉強会であったが、当事者、支援者、ご家族、家族会など様々な立場の方に参加いただけた。 難しいテーマではあるが、社会にとって必要な事業だと感じた。</p>
<p>当初計画したスケジュールどおり実施できましたか（計画性） メンバーが全員フルタイム勤務であること、資格取得などでいそがしかった1年ではあったが、計画したスケジュールは実施できたと思う。 今年度、勉強会を開催できたこと、つながりのきっかけを持てたことを次年度に生かしていきたい。</p>
<p>スタッフの能力を発揮して効果的にPRや事業が実施できましたか（能力） 上記のように、事業に大きく時間を割くことが難しい状況ではあったが、やまとニュースへの掲載依頼や、市民活動センターにご協力いただき、チラシの配架や活動団体への送付を行った。今回、ホームページの準備（未完成）や、フェイスブックでの広報を始めたため、広報力を高めていこうと思う。</p>
<p>当初の予算どおり実施できましたか（費用の妥当性） 勉強会に県外の講師を呼ぶこととなり、当初予定していなかった旅費交通費が発生したが、その他は概ね実施できた。</p>
<p>今後事業の継続が期待できそうですか（継続性） 新しい会員が増え、小さくゆっくりながらも継続していけると感じている。社会性の強い活動なので、今後も市役所の方や市民活動センター、大和市の各団体の方のご協力を仰ぎながら進めていきたい。</p>

第8号様式

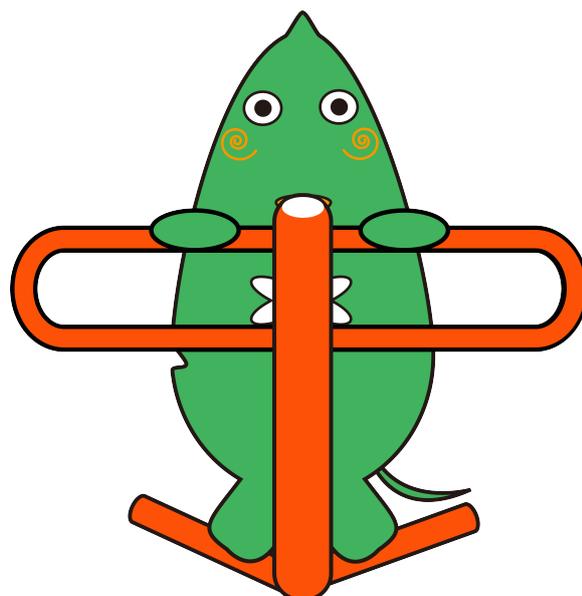
補助事業収支決算書

1 収入の部				
区 分	予 算 額	決 算 額	増減(△)	説 明
会費	0	4,036	4,036	団体会費より
補助金	50,000	50,000	0	めばえ50,000円
合 計	50,000	54,036	4,036	
2 支出の部				
区 分	予 算 額	決 算 額	増減(△)	説 明
運営費（食糧費）	11,100	2,056	△9,044	
通信費	15,000	1,810	△13,190	
印刷代	16,980	10,390	△6,590	
研修費	5,000	5,840	840	書籍購入費
消耗品費 （需要費）	1,920	9,940	8,020	
賃借費	0	3,000	3,000	
旅費交通費	0	21,000	21,000	旅費交通費
合 計	50,000	54,036	4,036	

リハビリテーション専門職による アウトリーチ活動

[地域を明るくする

リハビリテーション専門職の会 大和]



大和市イベントキャラクター ヤマトン

事業報告書

団体名	地域を明るくするリハビリテーション専門職の会 大和
事業名称	リハビリテーション専門職によるアウトリーチ活動
補助区分	めばえ ・ はぐくみ
補助金額	50,000 円
事業の目的	リハビリテーション専門職の知識と技術を活かし、人の健康、住民の健康、街の健康に寄与し、地域を明るくすることを目的に活動を行う
事業の内容	<p>上記の目的を達成するために、介護予防講演会を以下の日程、内容で計 8 回開催しました。</p> <p>日時/場所/内容/参加人数</p> <p>①2022. 5. 24/大和市コミュニティセンター西鶴間会館/コロナ禍における転倒予防～今日から実践できる運動～/8 人</p> <p>②2022. 8. 2/鶴間地域包括支援センター/認知症予防～コグニサイズを知ろう～/7 人</p> <p>③2022. 8. 26/市営鶴間台住宅/コロナ禍における転倒予防～今日から実践できる運動～/7 人</p> <p>④2022. 9. 12/つきみ野自治会館/認知症予防～コグニサイズを知ろう～/30 人</p> <p>⑤2022. 10. 27/やまと防災パーク/コロナ禍における転倒予防～健康遊具の使い方～/33 人</p> <p>⑥2022. 11. 29/市営鶴間台住宅/認知症予防～コグニサイズを知ろう～/7 人</p> <p>⑦2023. 2. 14/コーポ下鶴間/“車いすに乗る人も介助者も安心のために～街へ買い物へ、散歩へ出かけましょう”/18 人</p> <p>⑧2023. 2. 27/市営鶴間台住宅/膝痛予防について/4 人</p> <p>実際に地域で活動されている地域在住高齢者のもとにアウトリーチし、「転倒予防」、「認知予防」、「膝痛予防」など様々なテーマの介護予防講習会を実施させていただきました。</p>
実施場所	大和市コミュニティセンター西鶴間会館 鶴間地域包括支援センター 市営鶴間台住宅 つきみ野自治会館 やまと防災パーク コーポ下鶴間
参加人数	114 人

	実施日時	実施内容
事業実施の 経過	4/11	1 回目介護予防講習会の打ち合わせ
	5/24	介護講習会 1 回目実施
	6/17	広報用のチラシ完成
	6/25～	広報用のチラシ配架
	7/8	2 回目介護予防講習会の打ち合わせ
	7/19	3 回目介護予防講習会の打ち合わせ
	8/2	介護講習会 2 回目実施
	8/26	介護講習会 3 回目実施
	9/9	4 回目介護予防講習会の打ち合わせ
	9/12	介護講習会 4 回目実施
	9/22	5 回目介護予防講習会の打ち合わせ
	10/27	介護講習会 5 回目実施
	11/25	6 回目介護予防講習会の打ち合わせ
	11/29	介護講習会 6 回目実施
	2/5	7 回目介護予防講習会の打ち合わせ
	2/10	8 回目介護予防講習会の打ち合わせ
	2/14	介護講習会 7 回目実施
2/27	介護講習会 8 回目実施	
2/28	事業全体の振り返り、報告書作成	
事業の成果	<p>年間を通して8回の介護予防講習会を実施できました。参加人数は114名でした。当初の企画書では介護予防講習会の回数は5回、参加者は50名を予定していたので予定より良い成果が出せたと思います。</p> <p>また、介護予防の取り組みを担っている地域包括支援センターとの連携が強まり、協力して介護予防講習会を実施することができました。単発の講習会ではなく、2回以上同じ対象者に講習会を実施することもでき、今後の繋がりにも期待ができると考えています。</p>	

◆事業のふりかえり

<p>事業の必要性や市民のニーズを感じましたか（公益性）</p> <p>事業開始前に、介護・医療・保健・福祉などの側面から高齢者を支える地域包括支援センターの大和市内の職員の話をついたところ「講習会等を実施する専門職がない」との声が聞くことができました。それを踏まえて2022年度地域包括支援センター主催の介護予防講習会を実施し、「顔見知りの専門職が近くにいと相談しやすく助かる」とのお言葉が頂きました。その言葉通り2022年度は実施した介護予防講習会全8回のうち、地域包括支援センター主催の講習会を6回実施しました。このことから当会の事業の必要性はあると考えます。</p> <p>また、市内の高齢者自主活動グループにも関与できました。そこでも指導する専門職が不在であり、病院などの公的な事業だけでは対応できていない現状があります。当会の活動では、リハビリテーション専門職がアウトリーチし、公的な事業だけでは手が届かない対象者にもアプローチができたと考えます。このことから市民のニーズは高いと考えます。</p>
<p>当初計画したスケジュールどおり実施できましたか（計画性）</p> <p>当初の計画したスケジュールよりも円滑に事業は実施することができました。当初の計画したスケジュールでは、2022年4月～7月まで広報活動をし、8月～12月まで5回介護予防講習会を実施する予定でした。しかし、実際には5月から講習会を実施することができました。その後も広報活動を行いながら、予定の5回より多い8回の講習会を実施しました。また、同じ期間に偏って実施しないように様々な月で実施することもできました。</p>
<p>スタッフの能力を発揮して効果的にPRや事業が実施できましたか（能力）</p> <p>当会のスタッフは、リハビリテーション専門職であり理学療法士という国家資格を有しています。職業のスキルを活かして転倒予防や認知症予防、膝痛予防等の講習会（講話や体操）を実施し価値ある活動ができたと考えます。</p> <p>また、ただ単に知識を得るだけの講習会を実施するのではなく、地域住民との交流の促進を図ることを重視することで、より地域に密着し、地域住民に貢献する活動ができたと考えます。</p>
<p>当初の予算どおり実施できましたか（費用の妥当性）</p> <p>当初の予算通り実施できた項目とズレが生じた項目がありました。講習会や打ち合わせを実施するための交通代として旅費を予算に入れていました。また、地域住民対象の講習会連絡・広報のための切手代、宅配費用として通信運搬費を予算に入れていました。しかし、講習会開催場所を近隣に限局し、自転車で移動できたため交通費は要しませんでした。広報のチラシ配りは市役所や市民活動センター、地域包括支援センターに協力して頂きました。そのため、通信運搬費も要しませんでした。その費用分、プリンターを団体活動初期に追加購入しました。これにより、来年度以降、講習会で必要な資料印刷が可能とあり活動が活発的に実施できます。</p>
<p>今後事業の継続が期待できそうですか（継続性）</p> <p>来年度以降も当会の事業は継続が期待できます。理由として、市内の地域包括支援センターの職員と強い繋がりができたからです。地域包括支援センターでは毎年数多くの介護予防講習会を実施しています。その職員と繋がりが持てたことにより今後も講習会依頼が続き、事業の継続ができると考えます。</p> <p>また、地域の自主活動グループの高齢者とも繋がりを持つことができました。既に来年度（2023年度）の講習会の依頼もあります。地域包括支援センターだけでなく、実際に活動している高齢者と直接繋がりを持てたため、今後もより事業の継続がしやすくなったと考えます。</p>

第8号様式

補助事業収支決算書

1 収入の部				
区 分	予 算 額	決 算 額	増減(△)	説 明
参加費	5,000	0	△5,000	無償で実施したため
会費	0	195	195	団体の会費より
補助金	50,000	50,000	0	市民活動推進補助金
合 計	55,000	50,195	△4,805	
2 支出の部				
区 分	予 算 額	決 算 額	増減(△)	説 明
報償費	10,000	0	△10,000	・団体メンバーで実施
業務委託費	0	10,000	10,000	・チラシ
印刷費	0	5,199	5,199	・印刷費
消耗品費	17,200	13,244	△3,956	
旅費	8,000	0	△8,000	・自転車で移動
通信運搬費	4,000	0	△4,000	・チラシ配りは市役所等に協力
保険料	2,800	0	△2,800	・参加者の団体が保険加入
賃借料	0	400	400	・会場費
その他	13,000	21,352	8,352	・プリンター、血圧計、体温計
合 計	55,000	50,195	△4,805	

家族の介護を乗り切るための 連続セミナー

[市民活動グループ ごきげんカンパニー]



大和市イベントキャラクター ヤマトン

事業報告書

団体名	市民活動グループ ごきげんカンパニー	
事業名称	家族の介護を乗り切るための連続セミナー	
補助区分	めばえ ・ はぐくみ	
補助金額	200,000円	
事業の目的	<p>「家族の介護でつぶれる人をなくしたい！」</p> <p>その実現のために、大和市で、広く市民の方向けに、事業を展開することを目的とする。事業の方針は以下の通り。</p> <p>① 家族介護者（ケアラー）と医療・介護の専門職の実体験を学んでもらう。</p> <p>② 相談できる場所や人、介護保険等の基礎を知ってもらう。</p> <p>③ 学んだこと、知ったことを周囲の人に知らせてもらい、介護を「抱え込まない、抱え込ませない つながり」を作る。</p>	
事業の内容	<p>『全3回連続セミナー』</p> <p>■第1回（令和4年6月11日） テーマ「介護×笑い」 内容：代表 田中の介護の実体験と講師による落語を、笑いを交えてお伝えしました。</p> <p>■第2回（令和4年10月15日） テーマ「どこに、誰に相談したらいいの？」 内容：家族の介護経験者と地域包括支援センター、病院、弁護士の計6名から実体験や相談・支援事例をお話しいただきました。</p> <p>■第3回（令和5年2月18日） テーマ「移乗・移動の講義と実技」 内容：家族をケアする技術を講師から学びました。</p>	
実施場所	大和市生涯学習センター	
参加人数	157名	
事業実施の経過	実施日時	実施内容
	4/14	会議
	5/12	会議&講師打合せ
	6/2	全体リハーサル&会議

	6/11 6/16 7/14 8/18 9/15 10/6 10/15 10/27 11/17 12/15 1/19 1/25 2/9 2/18	第1回セミナー 第1回振り返り会議 会議 会議&パネラー打合せ 会議&パネラーリハーサル 全体リハーサル 第2回セミナー 第2回セミナー振り返り会議 会議 会議 会議&講師打合せ 全体リハーサル 会議 第3回セミナー
事業の成果	<p>参加者の幅が広がった（現在介護中の方だけでなく、20、30代の方、医療・介護の専門職、士業、終活・相続コンサルタントの方が参加）。</p> <p>協力してくれる方が増えた（メンバー9名→12名。地域包括支援センターとの情報交換。大和市市民活動課、市民活動センター、ボランティアセンターに相談に乗っていただき、チラシの配架をしていただいた。介護事業所に福祉用具のレンタル、本番のサポートをしていただいた）。</p>	

◆事業のふりかえり

事業の必要性や市民のニーズを感じましたか（公益性）

介護に関して「どうしたらいいかわからない」と感じている方が多い。①聞ける先を知らない②様々な悩みがあり一箇所で解決しない③気軽に話せない、ことが原因。これにより、必要都度、すぐに相談するという行動を起こしにくい。ケアラーや専門職から実体験を聞ける場や、話を聴いてもらえる繋がりが必要。

当初計画したスケジュールどおり実施できましたか（計画性）

実施できた。

スタッフの能力を発揮して効果的にPRや事業が実施できましたか（能力）

参加者の96%をメンバーが口コミで集客した（今回の連続セミナーで初めて、メンバー全員の顔をチラシに載せた。わざと似顔絵にしたことで、メンバーの知り合いの関心を引くことができた。事業の目的を伝えると、知り合いがさらに口コミをしてくれた。この工夫がなければ集客はもっと難しかった）。

講師やパネラーもメンバーの人脈で確保した。

ハイブリッドセミナー、介護技術のセミナーができたのも、メンバーのスキルと人脈があったおかげ。

当初の予算どおり実施できましたか（費用の妥当性）

関係者の善意により下振れした支出があった。
印刷製本費が上振れした。（理由→どんなに良い企画をしても、集客できなければ意味がない。集客が簡単でないことは、過去3年の活動で理解している。せっかく大和市の補助金事業に選んでいただいたからには多くの市民の方に参加いただきたかったので、告知媒体（チラシ）に力を入れた）。

今後事業の継続が期待できそうですか（継続性）

ボランティアでやるには辛いのが正直なところです。
しかし、メンバーはケアラーであり、要介護者とその家族の支援者なので、事業の必要性を十分感じています。
継続するために、努力とチャレンジを続けます。
令和5年1月に、民間事業として『介護と相続の相談窓口』を開業しました。

第8号様式

補助事業収支決算書

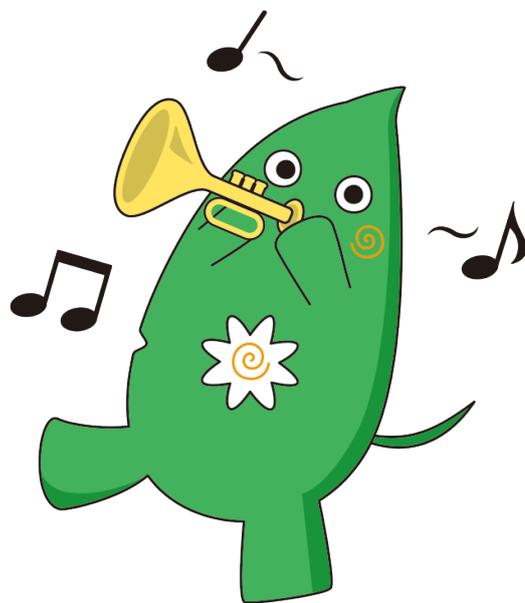
1 収入の部				
区 分	予 算 額	決 算 額	増減(△)	説 明
補助金	200,000	200,000	0	市民活動推進補助金
寄付金	0	22,844	22,844	
合 計	200,000	222,844	22,844	
2 支出の部				
区 分	予 算 額	決 算 額	増減(△)	説 明
賃借料	80,400	21,200	△59,200	オンライン用機材を格安にしてくれたため
報償費	63,000	60,000	△3,000	辞退者がいたため
保険料	4,500	3,780	△720	参加者数が減ったため
印刷製本費	50,550	120	△50,430	印刷は広告制作に込みで依頼したため
広告制作費	0	116,000	116,000	集客効果の高いチラシに変更したため
消耗品費	1,550	1,540	△10	
通信運搬費	0	2,520	2,520	チラシ配布協力先への送料
振込手数料	0	495	495	
委託費	0	17,189	17,189	オンライン運営を委託したため
合 計	200,000	222,844	22,844	

無償で提供された労力実績

区 分	予 算 額	決 算 額	増減(△)	説 明
人件費	239,200	386,880	147,680	会議 1,040円/時間×1時間×12回 ×12名 講師打合せ・リハーサル 1,040円/時間×1時間×7回× 12名 セミナー 1,040円/時間×4時間×3回× 12名
合 計	239,200	386,880	147,680	

大和駅前パワーアップイベント事業

[やまとパワフルミュージックサポート]



大和市イベントキャラクター ヤマトン

事業報告書

団体名	やまとパワフルミュージックサポート	
事業名称	大和駅前パワーアップイベント事業	
補助区分	× め ば え ・ ○ は ぐ く み	
補助金額	200,000 円	
事業の目的	1. イベントの再開と交流 2. 発表の場とチャンスの提供 3. 発掘と育成 4. 市民の交流促進	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月第3土曜日に本事業を実施 ・ 音楽、大道芸などの演者による発表 ・ 新規出演者の発掘と育成 ・ イベント生配信とFM やまとでの放送など ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止などの健康管理の対策を実施 	
実施場所	大和駅前広場、引地台公園野外音楽堂、桜ヶ丘ライブハウス injago	
参加人数	出演者96名	
事業実施の経過	実施日時	実施内容
	令和4年	
	4月29日	第1回パワーアップイベント（市内ライブハウス）
	5月21日	第2回 中止
	6月18日	第3回パワーアップイベント（大和駅前東側広場）
	7月16日	第4回パワーアップイベント （引地台公園、市内ライブハウス）
	8月20日	第5回パワーアップイベント（引地台公園）
	9月17日	第6回 同上
	10月16日	第7回 同上
	11月19日	第8回 同上
12月17日	第9回 同上	

	<p>令和5年 1月21日 2月18日</p>	<p>第10回 パワーアップイベント（引地台公園） 第11回 同上</p> <p>なお、パワーアップイベント開催日前後に音響機材の積込み、出演者調整、ラジオ出演、スタッフ会議を行った。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>① 本事業でのステージ数と出演者数 11回の開催でのべ56組が出演し、56回のステージを実施。 出演者数はのべ96名。</p> <p>② インターネット生配信の本数、視聴回数 46組の生配信を実施。 視聴回数は2,845回。 総配信時間は32時間12分。</p> <p>③ ラジオ出演 出演者やスタッフがFMやまとに16回出演し、本事業の宣伝、出演者募集などを実施。</p> <p>④ スターの発掘 本事業出演後に「純烈」のバックバンド（ドラム）となった方、吉幾三のレコーディングに参加した方、湘南ベルマーレフットサルクラブのイベントバンドとなったグループが出た。</p> <p>⑤ 裏方役の育成 音響系の育成を実施。当初は音響機材の操作がまったくできなかったが、本事業後半にはセッティング、機器の操作までできるようになった。</p> <p>⑥ 今後の予定 開催場所は引地台公園として、現時点で3/15、4/15、5/20、6/17の開催が決定。</p>	

◆事業のふりかえり

事業の必要性や市民のニーズを感じましたか（公益性）

コロナで長くイベント中止が続く中、本事業を実施したことで多くの市民に生演奏の感動や笑いを与えられたと思います。発表の機会がなかった出演者の皆さんにも本事業の実施を感謝されました。出演者と市民の交流も行われ、有意義なイベントとなりました。

当初計画したスケジュールどおり実施できましたか（計画性）

新型コロナ感染症拡大防止のため、変更が多く生じることとなりました。

スタッフの能力を発揮して効果的に PR や事業が実施できましたか（能力）

FM やまとを利用してスタッフと出演者による本事業 PR を実施できました。また音響スタッフの技術が向上し、効果的に事業を進めることができました。

当初の予算どおり実施できましたか（費用の妥当性）

新型コロナの影響でイベント開催場所の変更などが求められことにより、当初の予算通りには実施できませんでした。

今後事業の継続が期待できそうですか（継続性）

既に令和5年4月、5月、6月の開催が決まっています。
長く継続して行ける体制を作ってまいります。

第8号様式

補助事業収支決算書

1 収入の部				
区 分	予 算 額	決 算 額	増減(△)	説 明
運営費	110,000	0	△110,000	やまと骨董市からの運営補助がなくなったため。
	20,012	0	△20,012	同上
	0	1,430	1,430	寄付など
補助金	200,000	200,000	0	市民活動推進補助金
合 計	330,012	201,430	△128,582	
2 支出の部				
区 分	予 算 額	決 算 額	増減(△)	説 明
賃借料	55,000	69,964	14,964	会場使用料が発生したため（4、7、8、9、11、12、1、2月）等による。
通信運搬費	79,992	37,900	△42,092	イベント一回減（5月）と駐車場をなるべく使わないようにした事などによる。
印刷費	5,500	5,530	30	
旅費	19,800	26,452	6,652	新型コロナの影響による緊急的なミーティングが増えた事による。
消耗品費	37,720	20,084	△17,636	屋外でのマイク用飛沫防止シールドはさほど効果が無いことが証明され、購入を控えた事による。
報償費	132,000	41,500	△90,500	収入減のため出演料（報償費）を減額した。また事情を察し出演料を辞退する演者が多数いた事による。
合 計	330,012	201,430	△128,582	

無償で提供された労力実績

区 分	予 算 額	決 算 額	増減(△)	説 明
人件費	240,240	240,240	0	労力提供時間 令和4年4.6,7,8,9,10.11月(計7回)は8時間。 $1,040円 \times 3名 \times 8h \times 7回 = 174,720円$ 令和4年12月、令和5年1,2月(計3回)は7時間。 $1,040 \times 3名 \times 7h \times 3回 = 65,520円$ $174,720 + 65,520 = 240,240円$
	68,640	87,360	18,720	会議の回数が11回から14回に増えた。 $1,040円 \times 3名 \times 2h \times 14回 = 87,360円$
合 計	308,880	327,600	18,720	

市民活動推進補助金に関するお問い合わせは

大和市役所 市民活動課

協働・ボランティア・県人会・市民活動支援係

☎046-260-5103

大和市民活動センター

☎046-260-2586